

了

了

2年5月25日
一法315號

2710 號

2
5.2

2.6.2
送
0-2

未官

回答案

年

野月

金日

三日

大阪連信三局宛

各德藏出入金繰替拂ニ関スル件

對並調總第一四五〇號云々

局長 野

課長

第一法務

5月30日
6月/日
No. 1601

1090
2/1

めくれず

めくれず

町村制第六十七條に依り収入役事務兼
 事手首に各徳藏出金ノ支拂ヲ為ス場合
 於テ府縣知事許可書寫又ハ町村會同
 決議書寫寫添付ノ要否ヲ付来照ノ件ハ日
 本銀行に於テモ之ヲ必要トセザルコトヲ統
 一セ几都に付了知相成度
 違テ債主ヨリ任意提出ノモノハ強井テ返還
 スルコトナク其ノ儘支拂ニ通知書ニ添付方取
 許相成後又町村収入役ノ代理者に拂渡ス
 場合ハ大正十年十二月野規第二〇二三條
 準ニ處理スヘキ義に付為念

共一二號一四、一一局製

昭和二年五月十三日

國庫局報 第五號

按

項	目	頁
中井銀行休業ノ善後處理	一
十五銀行休業ノ善後處理	三
峯山代理店ノ災害	一
乙店受入日所屬年度ノ整理ヲナス件	一二
供託金利息請求書紛失ノ場合ノ處理方	一二
利札盡國債證券引換ニ際シ券面額分合ノ件	一三
市町村收入役代理ニ現金交付ヲナス場合ノ取扱方	一四
人事雜報	一五

◎中井銀行休業ノ善後處理

株式會社中井銀行休業ニ關シ當局ノ善後處理ハ同銀行カ突然三月十九日ヨリ休業ヲ發表セラレマシタノテ國庫事務ニ付テハ支障ヲ來タサシメサル様即日不取敢同行引受ノ埼玉浦和、柏壁、越ヶ谷三代理店ニ當局員二名宛ヲシテ相當ノ支拂資金ヲ持タシメ出張サセタノテアリス。

出張員ハ代理店へ到着後直チニ政府保管有價證券、代理店印章(派田印章モ含ム)、電信略語、電信送金暗號、小切手帖、隔地拂案内用紙、印鑑簿、見本證券、支拂濟ノ證券並利札、甲種登錄國債利子領收證、利札盡引換請求證券、利札盡引換新證券、其他使用中及使用濟諸帳簿並國庫事務ニ關スル書類等一切ニ付キ適宜ノ引繼書ヲ作成セシメ之レカ引繼ヲ受ケ出張員ヨリ引繼受書ヲ交付シ柏壁、越ヶ谷ニ於テハ元代理店ノ店內ヲ取扱所ニ充テマシタカ浦和ハ預金者ノ殺到ヲ虞レ他ニ借リ受ケタル場所ヲ以テ取扱所トシテ居リマシタカ二日目ニハ種々不便ノ點カアリマシタノテ元代理店ノ裏ノ建物ニ移リ數日後ニ於テ案外其心配モアリマセンノテ元代理店內ヲ取扱所トシ何レモ日本銀行出張員國庫事務取扱所ノ表示ヲ掲ケマシテ國庫事務ヲ通常ノ通り取扱ツタノテアリマス。

最初二三日ハ各店共元代理店ヨリ鐵庫ヲ借リ受ケ之レニ現金、有價證券其ノ他重要ノモノヲ藏置シマシタカ其ノ後ハ大藏省ノ了解ヲ得マシテ出張員カ有價證券ヲ本店ニ移送スルコト、シ、現金ハ毎日「假拂金」トシテ出張員ニ渡シ翌日之レカ決済ヲシテ居リマシタ、其ノ計算ハ自店分トシテ國庫金收

支額ヲ以テ振替傳票「政府預金」ノ受拂ニ立テ「假拂金」ノ決済ヲ借方ニ立テ其差額ヲ現金收(支)高ニ記入シ列外ニシテ整理シタノテアリマス。

國庫事務ノ取扱ニ付キテハ現金ノ收支ハ勿論其ノ他ノ事務モ元取扱店員ヲ使用スルコトハナルヘク之ヲ避ケル様ニ致シマシタ。

國庫事務ハ出張員ノ取扱ニ係ルモノナレハ代理店ノ名稱ヲ用ユルハ理論上穩當ヲ缺ク嫌モアリマスカ急場ノ處置トシテ引受銀行ヨリ休業届出ト同時ニ本行員ヲ出張セシメ事務ヲ執行セラレ度旨ノ依頼書ヲ發シ從來ノ代理店ノ名稱ヲ以テ印章等モ從前通りニテ取扱ツタノテアリマス。

出張員ハ最初各店ニ當局員ノミ二名宛參ツテ居リマシタカ二三日後柏壁、越ヶ谷ハ收支モ至テ少イモノヲスカラ當局員一名宛、出納局員二名宛トシ浦和ハ割合收支多ク又郵便局過超金ノ受入カ激増シ二三拾萬圓乃至八九拾萬圓アリマシタテ當局員二名ト出納局員五名宛派出シテ居リマシタ。

以上ノ如クテ三月末迄ハ出張員カ國庫事務ヲ處理シテ居リマシタカ同月三十一日ニ於テ浦和、柏壁兩店ハ其ノ地ニ本支店ヲ有スル株式會社武州銀行ト契約ヲ締結シ預金店ヲ同行東京支店トシテ引受ケシメ、越ヶ谷ハ株式會社第百銀行ト契約ヲ結ヒ同行其他支店ヲ以テ代理店トシ預金店ハ同行本店ト定メ何レモ四月一日ニ於テ國庫事務ノ全部ヲ引繼キ同日ヨリ代理店カ事務ヲ執ルコトニナツタノテアリマス。

新引受店ハ何レモ國庫事務ニ經驗カアリマセンカラ各代理店へ當局出張員一名宛ヲシテ約一週間乃至二週間位事務ノ指導ヲ致サシメマシテ引揚ケタ譯ヲ益ニ漸ク一段落ヲ告ケタノテアリマス。

◎十五銀行休業ノ善後處理

客月二十一日十五銀行休業ノ結果同行ノ引受ニ係ル本店所屬ノ上野驛代理店、大阪支店所屬ノ神戸外九代理店並ニ熊本支店所屬ノ鹿兒島外十四代理店ハ自然休止ノ姿ト成リマシタノテ關係官廳トモ打合ノ上大體左記ノ通り臨機ノ措置ヲ講スルコトニ致シマシタ。

- 一、上野驛代理店ハ豫テ抱境セル驛代理店廢止ノ方針ニ則リ之ヲ好機トシテ閉鎖ヲナシ其事務ハ東京驛代理店ニ併合シ同店取扱銀行タル安田銀行ヲシテ東京驛代理店ノ派出トシテ日々上野驛ニ派出取扱ヲ爲サシムルコト、致シマシタ。
- 二、神戸代理店ニ付テハ大藏省ニ交渉ノ結果神戸支店開設ノ日迄暫定的ニ大藏省令第七號ニ依ル本行取扱ノ國庫事務取扱所ヲ同支店内ニ設ケ代理店ノ事務ヲ其儘繼承執務スルコトニ成リマシタカ國庫事務取扱所ハ大體外部ニ對シテハ代理店同様ノ働キヲ爲シ内部ニ於テハ其統轄店タル支店長ノ指揮ノ下ニ其支店ノ延長トシテ動クモノテアリマス。
- 三、十五銀行取扱タリシ、堺、西宮、伊丹三代理店ノ事務ハ差當リ大阪支店員日々三十四銀行ノ店舖ニ出張之カ取扱ヲ爲シタノテアリマスカ之ハ既ニ三十四銀行ニ於テ引受済ト成リマシタ。

四、富田林、岸和田、三田、洲本、市村五代理店ハ十五銀行引受ノ下ニ復託銀行カ事務ヲ取扱ツテ居ツタモノテスカ十五銀行休業ノ結果トシテ此等復託銀行ノ代理店ノ看板ヲ取り去ルコトハ時節柄面白カラストシ差當リ復託銀行トノ間ニ保管金制度ノ假契約ヲ締結シ其銀行ヲシテ代理店事務ヲ取扱ハシメテ居リマシタカ近ク之モ三十四銀行ニ於テ現在ノ取扱銀行ヲ其儘同行ノ復託店トシテ引受タル管ヲス。

五、兵庫驛代理店ハ豫テ神戸支店開設ト同時ニ閉鎖シテ同支店ノ派出取扱ニ改ムル方針ヲアリマシタカラ之モ此機會ニ派出ニ改ムルコト、シ神戸代理店取扱ニ係ル神戸税關派出事務ト共ニ神戸國庫事務取扱所ノ派出事務トシテ安田銀行神戸支店ニ委託スルコトニ致シマシタ。

六、鹿兒島縣下所在代理店中大島代理店ハ十五銀行ノ復託銀行タル第四百十七銀行ノ取扱ニ係ルモノラスシ同行ハ現ニ宮崎縣下八代理店ヲ引受ケテ居リマス關係カラ預金店ヲ同行宮崎支店ニ變更シテ引續キ其事務ヲ取扱ハシムルコト、致シマシタカ爾餘ノ十四ヶ店ニ付テハ此際一々本行員ヲ派遣執務セシムルコトハ事實上不可能ナノテ大藏、司法、逓信三省ニ交渉ノ結果夫々適當ナル省令ノ公布ヲ求メ當分ノ内鹿兒島市ニノミ國庫事務取扱所ヲ設ケ其他ノ閉鎖代理店所在地ニ於テハ政府自ラ其地ノ出納官吏ヲシテ現金及有價證券ノ出納保管ヲ司ラシムルコト、シ唯從來各店ニ於テ保管シテ居ツタ有價證券ハ之ヲ鹿兒島國庫事務取扱所ニ引繼キ同所ヲ拂出事務ノ

ミヲ取扱ハシムルコト、致シマシタ尙右取扱所ハ同地專賣支局構内ノ一部ヲ借受ケ熊本支店長ノ指揮監督ノ下ニ當局員七名出納局員二名ニテ執務シテ居リマス。

七、前項ノ加キ特別ノ取扱ヲ爲スコト、成ツタノテ大藏省令第十號「出納官吏等ノ現金及有價證券ノ保管ニ關スル特例ノ件」司法省令第十三號「供託物受拂ノ臨時特別取扱ニ關スル件」大藏省告示第七十三號「大藏省令第十號ニ依ル特別取扱ヲ爲スヘキ地及郵便局ノ指定」司法省告示第二十一號「閉鎖代理店ニ於テ從前受入レタル供託物ノ拂渡所指定」同第二十二號「種子島代理店取扱ノ供託物拂渡所指定」(以上四月二十七日官報) 大藏省令「郵便官署ヲシテ歳入金ノ受入ヲ爲サシムルノ特例ニ關スル件」逓信省告示第四十六號「同上取扱郵便局指定」(以上四月二十八日官報)等ノ公布カアリマシタカ尙其以外ニ日本銀行代理店ノ閉鎖シタル場合ニ於ケル國庫事務等取扱ニ關スル臨機措置要綱并ニ郵便官署ヲシテ歳入金ノ受入ヲ爲サシムルノ臨時投實施要綱等ノ達ヲ受ケマシタ。參考迄ニ全文ヲ記録シテ置キマス。

藏計第二四五號

昭和二年四月二十七日

日本銀行總裁 市來 乙彦 殿

大藏次官 黒田 英雄 閣

五

出納官吏等ノ現金及有價證券ノ保管ノ特例ニ關スル大藏省令ノ實施方ニ付別紙要綱各省へ通牒致置候條貴行ニ於テモ右ニ依リ御取扱相成度

日本銀行代理店ノ閉鎖シタル場合ニ於ケル國庫事務等取扱ニ關スル臨機措置要綱

日本銀行代理店ノ閉鎖セラレタル場合ニ於ケル國庫金ノ取扱及政府有價證券ノ事務取扱方ニ關シテハ左ノ各項ニ依リ之ヲ處理スルモノトス

第一歳 入金

一、國庫ノ諸收入金ヲ徵收セムトスルトキハ從來日本銀行代理店ニ直接納付セシメタルモノト雖國庫事務取扱所ニ納付セシムル場合ヲ除クノ外當該官廳ニ於ケル出納官吏ニ於テ之カ收納ヲ爲スコト

二、前項ニ依リ出納官吏ノ收納シタル諸收入金ハ今回ノ大藏逓信省令ニ依リ舊日本銀行代理店ノ所在地郵便局ニシテ逓信大臣ノ指定シタルモノニ之カ拂込ヲ爲スモノトス之カ施行細目ハ別途大藏逓信兩大臣ノ通牒ニ基キ取扱フコト

三、既ニ各廳歳入徵收官ニ於テ納入告知書ヲ發行シ未納ニ屬スルモノニシテ閉鎖シタル日本銀行代理店ヲ納付場所ト爲シタルモノニ付テハ國庫事務取扱所又ハ當該廳出納官吏ニ於テ收納セシムルノ方法ヲ講スルコト

第二歳 出金

一、支出官ニ於テ支拂ヲ爲サムトスルトキハ從來小切手ノ支拂店タリシ日本銀行代理店ノ閉鎖セラレタル場合ニ於テハ其ノ地ニ國庫事務取扱所ヲ設置セラレタル場合ヲ除クノ外同取扱所ヲ以テ小切手ノ支拂店トシ隔地者拂ノ方法ニ依ルコト

二、閉鎖シタル日本銀行代理店ヲ支拂場所トシテ既ニ支出官ノ振出シ又ハ發行シタル小切手又ハ歳出金支拂通知書ハ左ノ方法ニ依リ處理スルコト

(イ) 支拂官ノ振出シタル小切手ニシテ閉鎖シタル日本銀行代理店ヲ支拂場所ト爲シタルモノハ國庫事務取扱所ヲ支拂場所ト爲シタルモノトシテ處理スルコト

(ロ) 支出官ノ發行シタル歳出金支拂通知書ニシテ閉鎖シタル日本銀行代理店ヲ支拂場所ト爲シタルモノニ付テハ國庫事務取扱所ヲ設置シタル地ニ在リタル日本銀行代理店ヲ支拂場所ト爲シタルモノハ當該國庫事務取扱所、其ノ他ノ代理店ヲ支拂場所ト爲シタルモノハ當該代理店所在地ニ於ケル郵便局ヲ支拂場所ト爲スモノトス

支出官事務規程第十七條ノ規定ハ本項ノ場合ニ之ヲ準用スルコト

第三歳 預金

一、閉鎖シタル日本銀行代理店ヲ預託店ト爲シタルモノ、資金ノ殘高ハ當該地域ニ於ケル國庫事

務取扱所ニ於テ取扱フコト、シ支拂ノ爲要スル資金ハ國庫事務取扱所ニ要求シ之カ引繼ヲ受クルコト

二、別途大藏省令ニ依リ郵便局ニ郵便貯金トシテ預入レタル爲生スル利子ハ之ヲ國庫ノ收入金トシテ處理スルコト

三、前項ノ場合當該廳ニ收入官吏在勤スルトキハ利子ヲ當該收入官吏ニ拂込マシメ收入官吏在勤セザルトキハ當該資金前渡官吏ヲ收入官吏トシテ之カ領收ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第四 保管金、供託金其他政府ノ保管ニ係ル現金

一、保管金、供託金其他ノ政府ノ保管ニ係ル現金ニ付テハ別途大藏省令ニ依リ當該廳ノ出納官吏ヲシテ保管セシムルコトヲ得ルノ途ヲ開キタリト雖拂渡期迄ニ相當期間アルモノニ付テハ可成國庫事務取扱所ヲシテ之カ取扱ヲ爲サシムルノ方法ヲ講シ郵便貯金ト爲スハ必要ノ限度ニ留ムルコト

二、閉鎖シタル日本銀行代理店ヲ預金取扱店ト爲シタル場合ニ於ケル預金殘高ハ當該預金ノ預ケ人ヨリ國庫事務取扱所ニ要求シ之カ引繼ヲ受クルコト

第五 政府有價證券

政府ノ所有又ハ保管ニ係ル有價證券ニシテ閉鎖シタル日本銀行代理店ヲ取扱店ト爲シタルモノニ

付テハ第四ノ例ニ依ルコト

第六 閉鎖シタル日本銀行代理店ヲ支拂場所トシテ既ニ出納官吏等ノ振出シ又ハ發行シタル小切手又ハ支拂通知書ニ對スル善後處理方法ハ歳出金ニ對スル處理方法ニ準スルコト

歳計第二五三號

日本銀行

今般公布ニ係ル^{大藏省令}ニ依リ郵便官署ヲシテ歳入金ノ受入ヲ爲サシムル場合ノ取扱方ニ關シテハ別紙要項ニ依リ之カ取扱ヲ爲スヘシ

昭和二年四月二十八日

大藏大臣 高橋 是清 閣

別紙

郵便官署ヲシテ歳入金ノ受入ヲ爲サシムルノ臨時取扱實施要綱

- 一、本取扱ハ大正四年大藏省令第一號及同年逓信省令第八號ニ依ル取扱トハ之ヲ混淆セザルコト
- 二、昭和二年四月二十八日公布ニ係ル大藏逓信省令ニ基キ郵便官署ニ於テ受入ルヘキ國庫ノ收入金ハ一般會計所屬ノモノタルト特別會計所屬ノモノタルトヲ問ハス兩省令第一項前段ニ掲クル收入金以外ノ各處收入金ニシテ收入官吏ノ日本銀行ニ拂込ムヘキモノタルコト

- 一〇
- 三、收入官吏其ノ領收シタル歳入金ヲ日本銀行ニ送付セムトスルトキハ別紙書式ノ現金拂込書ニ現金ヲ添へ逓信大臣ノ指定スル郵便局ニ之カ拂込ヲ爲スコト
 - 前項ノ拂込ニ付テハ出納官吏事務規程第十八條乃至第二十條ノ規定ヲ準用スルコト
 - 四、郵便局ニ於テ前號ニ依リ現金ヲ受入レタルトキ領收證書ヲ拂込者ニ交付シ其ノ通知書ヲ取經郵便局ニ送付スルニト
 - 五、取經郵便局ニ於テハ受入郵便局ヨリ送付ニ係ル通知書ヲ取經メ之ヲ一括シテ受入金額ニ相當スル別紙書式ノ歳入金振替證券ヲ發行シ之ニ通知書及別紙書式ノ歳入金振替拂込書ヲ添へ取扱店タル日本銀行ニ送付シ受入金拂込ノ手續ヲ爲スコト
 - 六、日本銀行ニ於テ前號ニ依リ取經局ヨリ受入金ノ拂込ヲ受ケタル場合ニ於テハ其ノ領收濟通知書ヲ當該歳入徴收官ニ送付シ取經郵便局ニ交付スヘキ領收證書ニハ「臨時扱」ノ朱印ヲ捺捺スルコト
 - 七、收入官吏ノ第三號ニ依リ郵便局ニ拂込タル金額ハ日本銀行ニ拂込タル金額ト區別シテ現金拂込仕譯書ヲ作成シ歳入徴收官ニ報告スルコト
 - 八、大正四年大藏省令第一號第九條乃至第十一條及大正四年逓信省令第八號第五條ノ規定ハ本取扱ニ付之ヲ準用スルコト

九、從來ノ取經局ヨリ歳入徴收官ニ送付シタル拂込仕譯書ハ臨時扱ニ付テハ之ヲ廢スルコト

備考

- 一、番號、年度、歳入徴收官、主管、取扱應、拂込人及金額ハ總テ收入官吏ニ於テ記入スルモノトス
- 二、現金拂込書各片欄外ニ「臨時扱」ト朱書スルモノトス
- 三、本書式出来迄ハ出納官吏事務規程所屬第一號書式ニ本書式中「拂込傳票」片ヲ添附シタルモノヲ以テ代用スルコトヲ得

◎峯山代理店ノ災害

本春三月七日北丹地方大震災ノ折京都支店所屬峯山代理店ハ倒壊全焼ノ災厄ニ遭ヒマシタ爲メ國庫關係ノ帳簿、證憑、一切ハ灰燼ニ化シ只金庫ノミハ安全ナルヲ得タトノ報カアリマシタカ後日開扉ノ結果ニヨレハ額面約五十三萬餘圓ノ政府有價證券ハ全部蒸焼トナツテ居タノラス、國庫金受拂ニツキテハ各關係官廳統轄店並ニ拂込者又ハ受取人等ニツキ事實ヲ調査シ日ナラスシテ其復舊ヲ終ツタノラス然ルニ有價證券ハ記番號スラ判明シ兼ナル状態ニナツテ居マシタカ幸ニ取扱官廳タル供託局出張所ハ倒壊シタカ火災ヲ免レタノテ證憑カアリ又本行側トシテハ最近調査セシメタ記番號カアリ双方ビツタリ符合シマシタノテ引受銀行タル安田銀行ノ責任ニ於テ國債證券ニ付テハ大藏省官吏、勸業債券復

興債券ニ付テハ日本勸業銀行員等立合調査ノ上可成簡單ニ代リ證券ノ交付ヲ受クル様目下手續中デア
リマス。

一一

◎乙店受入日所屬年度ノ整理ヲナス件

甲店ニテ各店間振替トシテ受入タル支拂元受高ヲ要スル特別會計歳入又ハ各會計ノ定額戻入ニシテ
乙店ニ於テ年度整理期間經過後其案内書ヲ受ケタル場合ニハ甲店受領日ノ所屬年度分トシテ整理スヘ
キモノナルヤ又乙店受入日ノ所屬年度分トシテ整理スヘキモノナルヤ、舊取扱手續第十四條及第二十
五條第二項但書ニハ甲店受領日ノ所屬年度分トシテ整理スルコトノ規定アレトモ現行手續ニ於テハ之
ニ該當スル規定ナキヲ以テ、手續解釋上當然乙店受入日ノ所屬年度分トシテ整理スヘキモノト思ハル
ルモ念ノ爲メ當局ノ意見ヲ求ムル旨京都支店ヨリ照會ニ接シマシタ。之ハ京都支店申出ノ通り現行手
續ニハ舊手續第十四條及第二十五條第二項但書ノ如キ規定ハ無いノヲアリマスカ之ヲ削ツタ根據ト
ラモ申シマスノハ日本銀行國庫金取扱規程ニ甲店受入日所屬年度ヲ以テ整理セヨトノ明文カ無ク甲店
ノ受領金ハ乙店受入整理ノ時ニ至テ歳入トナルモノヲアツテ見レハ乙店ノ受入日所屬年度分トシテ整
理シ差支ナイトノ解釋カラ訂正ヲ加ヘタ次第テアル由ヲ京都支店迄回答シテ置キマシタカ取扱店中ニ
ハ此改正ニ氣付カス今ニ之ヲ實行セラレナイ向モ見受ケラレマスノテ參考迄ニ記シテ置キマス。

◎供託金利息請求書紛失ノ場合ノ處理方

供託局ノ證明アル供託金利息請求書ヲ日本銀行ニ提出シ其支拂ヲ受クル以前ニ於テ利息受取人ノ
紛失シタル場合供託局ハ受取人ノ請求ニ基キ取扱店ニ就キ其ノ利息ノ支拂未済ナルコトヲ確メタル上
支拂方ヲ停止スヘキ旨取扱店ニ通知シ再度本人ヨリ提出シタル利息請求書ニ事由ヲ附記シ認可證明ノ
上受取人ニ交付スルコトニ成ツテ居リマスカ昨年十二月ノカ取扱方ニ付函館支店ニ回答シタ通り亡紛
失ノ認定ハ頗ル難事ナノテ本行トシテハ直ニ之カ請求ニ應ジテ支拂ヲ爲ス譯ニ參リマセンカラ一般ノ
手續トシテハ之ヲ定メス個々ノ場合其事情ニ應ジテ當局者ト交渉ノ結果之ヲ解釋スルノ外途カナイト
思ハレマス先般大阪支店ニ於テハ受取人ヨリ損害賠償ノ誓約書ヲ徴シテ支拂ハレタトノコトヲスカ之
モ一法ヲスシ、尙其外擔保ヲ徴シ又ハ確實ナル保證人ヲ立テサセル等ノ方法モアリマセウ何レニシテ
モ其危險ヲ少クセシムル方法ヲ講スルコトカ必要ヲセウト思ハレマス。

參考

本月二十四日附函館第八號ヲ以テ供託金利息請求書亡紛失ノ場合ノ取扱方ニ關シ御照會相成候處
右ハ貴見ノ通り亡紛失請求書認定方至難ニ有之候ニ付日本銀行ニ於テ一般ノ手續トシテ再認可書ニ依
リ支拂ヲ認ムルコトハ可成之ヲ避ケ度個々ノ問題ハ其時々ノ事情ニヨリ當局者ト交渉ノ結果之ヲ解決
スルノ外無之ト存候此段及御回答候也

◎利札盡國債證券引換ト同時ニ券面額分合ノ件

一三

寄託又ハ供託セル國債證券附屬利札盡了ノ場合之カ引換ニツキ特別取扱ヲナス規程中第一條ニ於テハ利札盡了ノ國債證券ヲ利札附屬ノモノト引換ヘ得ルコトヲ定メタルニ過キスシテ券面額ノ分合ヲ同時ニ取扱フコトヲ認メラレサル反面ニ於テ國債事務ノ取扱手續ニ於テハ利札盡了引換ト同時ニ券面額ノ分合ヲ認メラル、爲メ取扱店ニ於ケル取扱上ノ過誤ヲ招クコトアルノミナラス利札盡了引換ト同時ニ券面額ノ分合ヲ認ムルモ何等不合理ノコトモナキモノト考フルニヨリ之カ改正方大阪支店國庫係ヨリ提案カアリマシタ、此ノ改正ハ兩三字ノ字句ヲ削除スルコトニテ充分目的カ達セラル、ノラスカ同規程ハ大藏省令ヲスカラ當局ノミニテ直チニ其改正モ致シ難イノテ何レ適當ノ機會ニ於テ改正スルコトニ致シマス。

尙ホ利札盡了國債證券引換手續中ニハ引換請求書ヲ國債證券ニ代ヘ其旨ヲ件別帳ニ附記スルノテスカラ供託有價證券月計突合表ニハ受拂額ハ掲記サレナイノテアリマスカ供託局ニ於テハ利札盡了引換ノ場合ニモ其受拂ヲ計算ニ立テル爲メ突合表ハ不突合ヲ生シ、事故附ノ證明ヲ受クルノテアレハ供託局ト歩調ヲ一致スル様改正方ノ提案カアリマシタ御申出ノ通り事故附ノ突合表ノ證明ハ不快テアリマスカ利札盡了ノ引換ヲ爲スノハ國債係ノ同シ日本銀行内部ノ問題テアリマシレハ内譯帳ニ受拂ヲ記入スルニモ及ハス様ニモ考ヘラレマス。

◎市町村收入役代理ニ現金交付ヲナス場合ノ取扱方

歳出金支拂通知書ニヨリ市町村ニ支拂ヲナス場合ハ市町村收入役(但シ市町村ニ於テ金庫ヲ置イタ場合ハ金庫)ニ交付シナケレハ其效力ヲ生シナイコトニナツテ居リマスカ收入役故障アルトキハ其市町村ニ副收入役カアレハ格別然ラザルトキハ町村會カ町村長ノ推薦ニ依テ收入役代理ヲ定ムルカ或ハ特別ノ事情アル町村ニ於テハ府縣知事ノ許可ヲ得テ町村長又ハ助役カ收入役ノ事務兼掌ヲナシ得ルコトニ成ツテ居リマスカ之等ニ對シテモ支拂ヲナス場合カアリ得ル譯テス。斯ル場合ノ扱方ニ關スル規定トシテハ大正三年一月金達第二號ノ追書カアリマスカ市町村制カ變更セラレタ今日之カ適用ヲ見ルカ否カハ疑問カアリ又收入役事務兼掌ヲ收入役代理ト看做スカ否カニ付テモ明文カ無イタメニ郵便局報ノ分ニ對シ或店ヲハ事務兼掌ノ許可書寫ヲ要求シ或店ヲハ添附シテ來タ分ヲ返却セル等其取扱カ區々ニ互レル結果何レカ是ナルカヲ貯金局ニ問合セテ來タ郵便局カアルトノコトラス。當局ノ解釋トシテハ支拂通知書ニ對スル支拂ノ責任ヲ郵便局ニ於テ負擔スル以上本行ヨリ許可書寫又ハ證明書等ノ追送ヲ請求スル必要モナク又之ヲ添附シテ來タト返送スル程ノコトモナイト思ハレマス。

自店又ハ代理店ニ於ケル支拂ニ付テモ大體之ニ準シ受領者カ收入役代理又ハ收入役事務兼掌ナルコトヲ確認シ得ラル、場合ニハ許可書寫證明書等ヲ省略スルモ差支ナイト云フ方針ヲ進ンテ居リマス。

一寸御參考迄ニ申上テ置キマス。

◎人事雜報

本店

一月六日 岡野清豪君

爲替係へ

(二月十五日
大谷君ノ後任トナル)

四月一日 内藤謙二君

爲替係兼任

(岡野君ノ後任)

五月七日 若松庄太郎君

検査部ヨリ計算係へ

(内藤君ノ後任)

五月九日 酒井巖君

爲替係兼任

(同上)

岩尾真一君

計算係へ

鹿兒島國庫事務取扱所出張中

内藤謙二君

山田高春君 梅村實君

矢島勝全君

村中周三君 後藤増太郎君

廣田幸三君

函館支店

三月一日 狩野正孝君

國庫係ヨリ文書係へ

安達延雄君

文書係ヨリ國庫係へ

福島支店

三月十六日 山本米治君

計算局ヨリ國庫係へ

名古屋支店

高橋克己君

出納係ヨリ國庫係へ

三月十四日

服部寅治君

國庫係ヨリ文書係へ

四月一日

山川良雄君

文書係ヨリ國庫係へ

四月八日

塚本正雄君

國庫係ヨリ出納係へ

中井川信君

中川顯正君

出納係ヨリ國庫係へ

中井川信君

文書係ヨリ國庫係へ

松江支店

三月 中

有澤健一郎君

出納係ヨリ國庫係へ

鈴木福三郎君

鈴木福三郎君

調査局ヨリ國庫係へ

代理店検査ノ爲メ出張

鈴木吉藏君

三月十四日

倉吉

麻生三郎君

三月十七日

二部

渡邊忠雄君

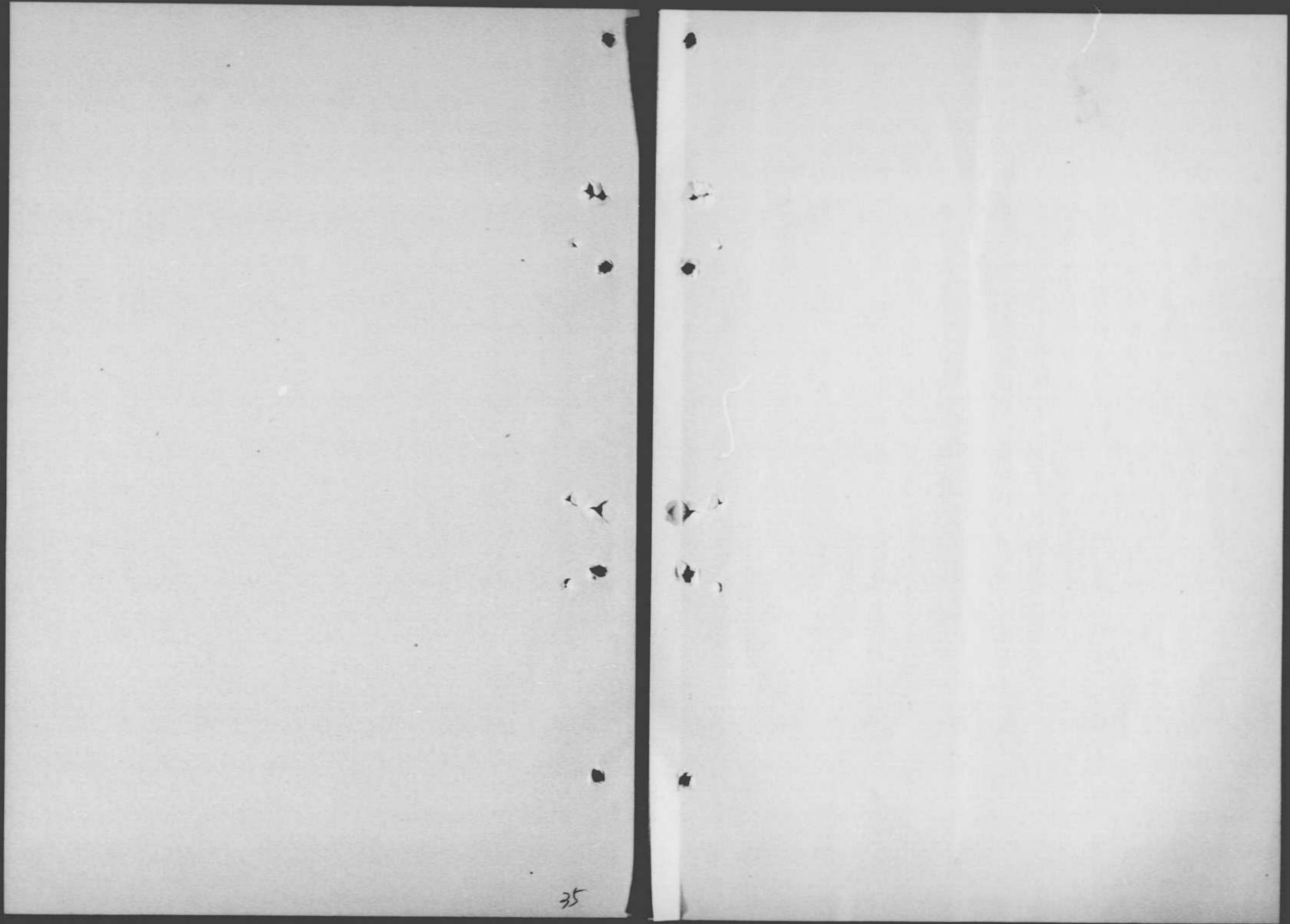
三月十八日

廣瀬

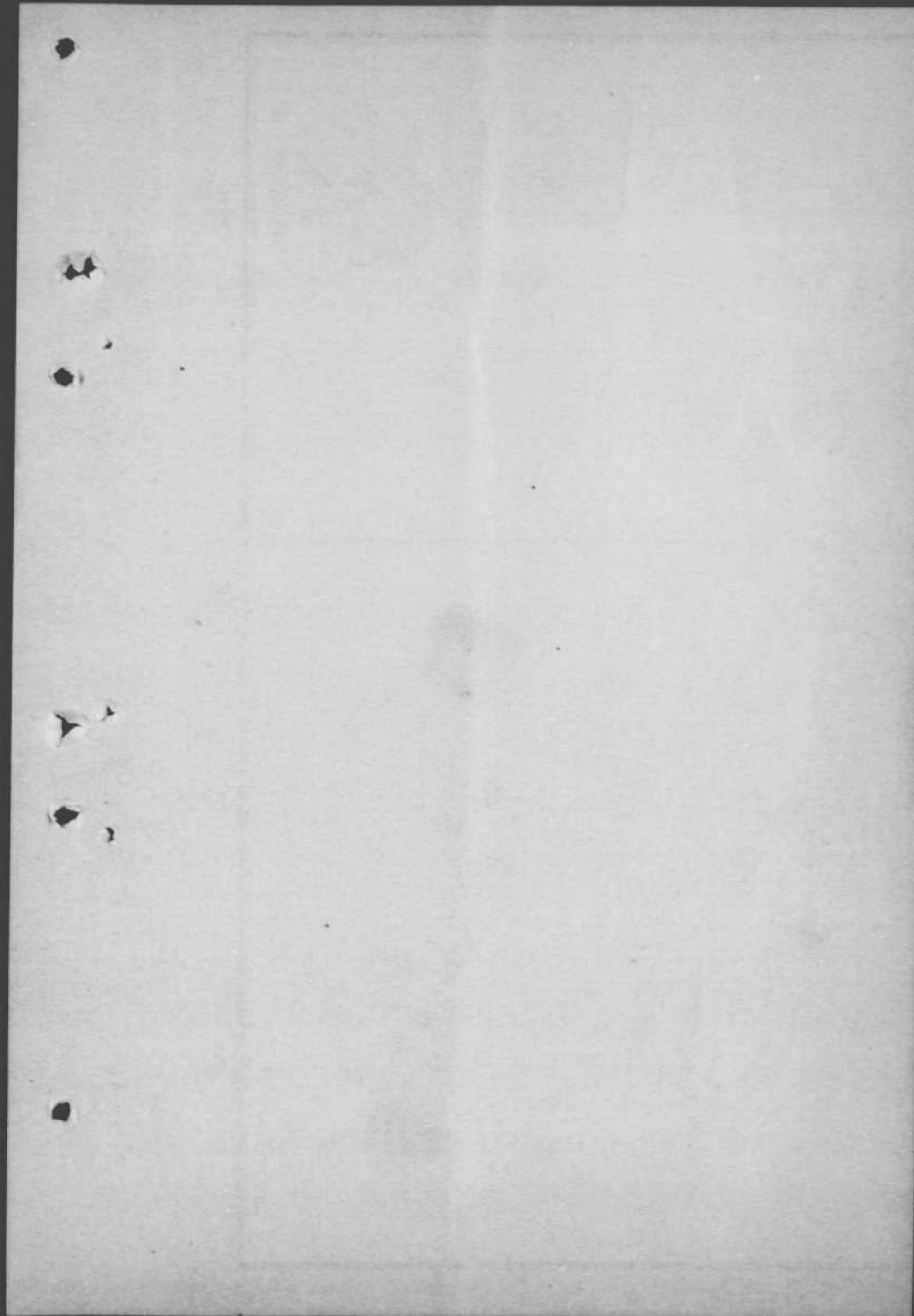
鈴木吉藏君

三月十八日

廣瀬



35



未結了

未結了

2年4月8日

大日 15 號
發送 檢 淨書
944

未官

回答案

年月日

野金局

大改通信白宛

各獲歳出金保替拂三関スル件

對並調徳第一四五。號 三三

局

課長

第一法

2年4月8日

2年

右ノ目下日本銀行本店ト交渉中ニ付決定
次第河合、回答可致候條了知相成度

財 金 局

共一二三三四一 封製

貯業



本件處理上ノ都合モ有之候様一應何分ノ同報相成度

封監調總第一一四五〇號 (三三)

管拂ニ關スル件

法第15

Handwritten notes in cursive script, including characters like '別紙' and '早文'.

明治二年三月廿一日

大阪通信局



大阪通信局

14 1 37

十四、三、藤田納

貯業

2 4 5

本件處理上ノ都合モ有之候様一應何分ノ同報相成度

各屬成出金繰替拂ニ關スル件
封監調總第一一四五〇號 (三三)

大阪 2.3.31 査

中

照會 昭和二年三月廿一日

大阪通信局

付 大阪通信局

141 37

十四、三、藤田納

此の通り
集計課
昭和二年三月廿一日

倉俣 町本

集計課

証主公署之職人
務課主給之付

めくれず

封業

2 4 5

監調總才一四五〇
文書字場付廻送才
取計用才度
一才の事年計將
限外子園陣
限外子園陣
常中

本件處理上ノ部台モ有之候條一應何分ノ同報相成度

各編成出金繰替拂ニ關スル件

封監調總第一一四五〇號 (三三)

中

照 旨 昭和二年三月廿一日

大阪通信局

大阪 2.3.31 査

大阪通信局

十四、二、藤田納

14 1 37

めくれず

貯業

2 4 5

2

前日多金多修多入銀金
此は始末しり八受一人移籍
之に付有強行可也
算計簿の中

本件處理上ノ部台モ有之候條一應何分ノ回報相成度
各編成出金繰替拂ニ關スル計
封監調總第一一四五〇號 (三三三)

照 旨 昭和二年三月廿一日
大 阪 遞 信 局

大 阪 遞 信 局
2.3.31
調 査

大 阪 遞 信 局

14 1 號 37

十四、二、藤田納

貯業

2 4 5

2 3

手書係、於監調總才二
女。牛ノ入、有無取調
集計ノ様
手書係

本件處理上ノ都合モ有之候様一應何分ノ回報相成度

各編成出金繰替拂ニ關スル件
封監調總第一一四五〇號 (三三)

大阪 2.3.31 査

御中

西號 照會 昭和二年三月廿一日
大阪通信局

大阪通信局

めくれず

14 1 37

十四、二、藤田納



本支書ハ支書欄より今一層
取調方依頼ありんは付中送付入
取調相成度

名庫屋班
御中
集計、為務

貯業

2 4 5

2 3

貯金局 御中

本件處理上ノ部台モ有之候様一應何分ノ同報相成度

各編成出金繰替拂ニ關スル計
封監調總第一一四五〇號 (三三)

大 阪 調 査
2.3.31

西 照 官 昭 和 二 年 三 月 廿 一 日

大 阪 遞 信 局

付
大 阪 遞 信 局

十四、二、藤田納

14 1 37

貯業

2 4 5

2 3

其詞條ノ一ニ其ノ詳ハ書キ
受入ノ帳簿ナシ
以テ其入

係
御中

集計課

局 御 中

本件處理上ノ都合モ有之候様一應何分ノ同報相成度
各編成出金繰替拂ニ關スル件
封監調總第一一四五〇號 (三三)

大 阪 2.3.31 調 査

四 號 照 會 昭和二年三月廿一日

大 阪 遞 信 局

大 阪 遞 信 局

めくれず

14 1 37

十四、三、藤田納

貯業



2 4 5

2 3 23

貯集

監調總第一五七二四號

照 宣 昭和二年三月廿一日

貯金局 御 中

大阪 逓 信 局

各編成出金線管拂ニ關スル件

封監調總第一一四五〇號 (三三)

本件處理上ノ都合モ有之候條一應何分ノ同報相成度



大阪 逓 信 局

裏面白紙

14 1 37

十四、三、藤田納

裏面白紙

寫

監調總券一四五號

照會

昭和二年三月三日

大阪逓信局

郵金局

各丁歳出金保替松園スレ付

玉降金ノ松濩ニ付テハ大正十一年十月野親券ニ、ニニ號黃局
 回券、次券ニ付リ且当地日本銀行支店ヨリノ要求スレテ以テ
 管田各向ノ對シテハ所打物券方ニ七條ニ依リ大正十一年野親券
 者ニ五折ノ場合ニ在リテモ有様知事許有書寫又ハ所打會合議
 決書寫ヲ添付セシメ保條案他、逓信局管田ニ於テハ之ヲ必
 要トモテ向リ取極方已女ニ涉リ取極局處理上支障不敷
 一併ニ統一方相當配意相成度

大阪逓信局用紙

未結了

本案ハ異議アリ
與合セ電請支
渡シタル上同封
「出張」等ヲ容
本件ハ成ル可ク
郵便局ノ手取
ヲ由ルセザルコト
ニ決シ方更ニ交
渡シ身凡日本
銀行ニ於テモ
同下研究中
付何ノ決定
ニ何カハ思
スルトノコトナ

〇年〇月〇日
號
號
淨書
校合
發送

木臣

未宙

照會案

年月日

野金 三白

日本銀行宛

各債歳出金拂渡ニ関スル件

各債歳出金ノ拂渡ニ付受取人カ所村制第文

局長野

課長 蒙

第一法規

金局

33

34

十七條ニ依ル收入後事務兼掌者ナリ場合ニ
於テ賣行名古屋支店ノ如キハ大正三年一月十
九日往第三文一辨理財局長回答ニ依リ府縣
知事許可書ノ寫ヲ必要トセサルモノトシテ承
扱ハルルモ大阪支店ニ於テハ同許可書ノ寫ヲ
必要トシ之カ添付ヲ要求セラルル報ヲ付テハ之カ
添付ノ要否賣行御意見一應承知致度

貯金局
第 944 号
2年3月4日
後 4-12

貯業



法第 204 号

監調總第一一四五〇號

照會

昭和二年三月三日

貯金局御中

大阪逓信局

各廳歳出金繰替拂ニ關スル件

國庫金ノ拂渡ニ付テハ大正十年十二月貯規第二〇二三號貴局回答ノ次
第モアリ且當地日本銀行支店ヨリノ要求アルヲ以テ當管内各局ニ對シ
テハ町村制第六十七條ニ依ル收入役事務兼掌者ニ支拂フ場合ニ在リテ
モ府縣知事許可書寫又ハ町村會議決書寫ヲ添付セシメ居候處他ノ逓信
局管内ニ於テハ之ヲ必要トセサル向アリ取扱方區々ニ涉リ取繼局處理
上支障不尠ニ付一般ニ統一方相當配意相成度

十四、二、藤田納

大阪逓信局

裏面白紙